

令和7年9月

成田営農経済センターだより②

TEL:0465-38-0131

【温州みかん】

この時期の病害虫防除は、収穫時の外観・品質へ大きく影響します。必ず実施しましょう。

病害虫防除 8月下旬～9月上旬 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

- 黒点病 ペンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ 収穫30日前 4回 *極早生に散布する際は、収穫日に気をつけてください。
- ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回
ミカンサビダニ (昨年より倍率に変更されています。) 又は
ダニゲッターフロアブル 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 1回
- チャハムアザミヤ スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回
ヤノネカイガラムシ

9月中旬～10月下旬

早生品種を中心に落果等のカメムシの被害が発生します。早生品種を栽培している方は、必ず、園地を見回り、防除しましょう。

- カメムシ類 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50ml/100ℓ 収穫前日 3回
又はロディー乳剤(劇) 2,000倍 50ml/100ℓ 収穫7日前 4回

スタークル顆粒水溶剤は3回使用できますが、大津四号、青島温州にも使用する場面も想定して散布を工夫してください。また、アルバリン顆粒水溶剤はスタークルと同じ剤のため、スタークルを3回散布した場合は使用できません。

【中晩柑】

病害虫防除 8月下旬～9月上旬 基本防除はみかんの項参照

* 中晩柑の防除における農薬の使用日数には十分に注意しましょう。

例) ジマンダイセン水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

ペンコゼブ水和剤 収穫90日前 12月上旬収穫のものには散布できません。

- かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100ℓ
(クレフノン200倍を加用)

注: ダニゲッターフルアブルはコサイド3000と混用できません。

施肥 中晩柑は秋季も窒素成分を切らさないようにしましょう。

初秋肥 9月中旬 特選みかん配合655 140kg/10a(後期肥大促進・樹勢維持のため)

* 10月下旬にもう1度施肥を行います。 特選みかん配合655 100kg/10a

【湘南ゴールド】

秋口の摘果では肥大促進効果は低いので、病害虫の被害が著しい果実と極小果を中心に仕上げシンニング(摘果)を行いましょう。裾枝・下垂枝の持ち上げ摘果で2S以下を無くしましょう。

仕上げシンニング (摘果)	9月20日	3.9cm～5.4cm	このサイズを残し、 外観を中心に仕上げ摘果
	11月20日	4.8cm～6.5cm	

仕上げ摘果・枝吊り

10月以降果実の肥大は緩慢となりますので、その前に小玉果、傷果を摘果し、果実の大きさをそろえましょう。果実の重量で枝が折れたり、裂けやすくなるので、重たくなる前に、枝吊り、枝支えを必ず行いましょう。

病害虫防除および施肥 中晩柑の項参照

【レモン】

病害虫防除 8月下旬～9月上旬 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

○ミカンハダニ	ダブルフェースフロアブル	2,000 倍	収穫前日	1 回	50ml/水 100 ㍓
ミカンサビダニ	又は				
チャノホコリダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000 倍	収穫前日	1 回	50ml/水 100 ㍓
○かいよう病	コサイド 3000	2,000 倍	50g/水 100 ㍓		
黒点病			(クレフノン 200 倍加用)		

注：ダニゲッターフルアブルはコサイド3000と混用できません。

施 肥 中晩柑は秋季も窒素成分を切らさないようにしましょう。

初秋肥 9月中旬 特選みかん配合 655 120kg/10a (後期肥大促進・樹勢維持のため)

*10月下旬にもう1度施肥を行います。 特選みかん配合 655 100kg/10a

【う め】

夏季剪定 9月中旬頃までに、縮間伐・立ち枝の間引きを実施しましょう。

樹の内部に光を入れることで、花芽分化の促進をします。また、夏季剪定の際に残す枝の葉を落とすと翌年の花芽分化に悪影響します。注意しましょう。

※灰星病発生園での剪定について

- ・結果枝（実のなる枝）に症状がある場合は、切り落とします。
- ・被害が多い場合は、側枝単位で切り落とします。
- ・樹全体に症状が広がっている場合は、健全な枝（緑枝など）を残し切り落とします。

剪定枝は発生源になるので、必ず園外廃棄しましょう。

○モモヒメヨコバイの発生が続く時は、防除しましょう。

テッパン液剤 2000 倍 50ml/水 100 ㍓ 収穫前日 2回を散布する（散布回数を注意する）

【か き】

枝つり

着色を良くするために、果実の重みで下がった枝を吊り上げて、光を入れるようにしましょう。

病害虫防除

9月上旬～9月中旬

カメムシ （夜間に飛来と加害が多いので、夕方に防除しましょう）

○スタークル顆粒水溶剤 2,000 倍 50g/水 100 ㍓ 収穫前日 3 回

* カメムシは山林から飛来して加害します。園の一部に加害が集中する場合があります。園内を良く見回り、加害を発見した時は防除しましょう。（早生種では、加害時期と収穫時期が重なります。収穫前日数には十分に注意しましょう。）

○うどんこ病・炭疽病 スコア顆粒水和剤 3,000 倍 33g/100 ㍓ 収穫前日 3 回

※台風などの強風、大雨があった場合は速やかに防除する。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。